**【第274号 紙面案内】**

第2面……………第65回全国研究大会開催校案内

第4面……………韓国経営教育学会への派遣報告者の募集

日韓国際交流雑感

国際委員長 手塚 公登 (成城大学)

2年半ほど前に国際委員長に就任してから、韓国を2度訪れた。目的は、韓国経営教育学会学術大会への参加や韓国経営教育学会との交流のあり方を巡っての会合への出席である。後者については日本側と韓国側に学会報告や機関誌への投稿などに関して考え方の違いがあり、なかなか難しいものだと痛感する場面が多かった。

交渉の子細をここで述べることはできないが、とにもかくにも昨年の秋の全国大会で韓国からの派遣報告者の発表のセッションを増やして、より密度の濃い交流に向けての第一歩を踏み出せたのではないかと考えている。これは国際委員会の中で韓国側との交渉役を担ってくださった委員の努力の賜であると感謝している。発表テーマや発表者の人選にはいろいろな行き違いがあり、組織委員長や主催校の大会委員長をはじめとする関係者の皆さまには多大な迷惑をかけてしまったことを反省している。今後はよりスムーズに、より充実した交流ができるよう検討していきたい。交流の頻度や内容について、両方の学会の内部でさまざまな意見があり、集約するのは難しい面もあるが、何とか質・量ともに多くの学会員に納得できるようなものになることを願っている。今年韓国側では長年の交流窓口が、梁先生から柳先生にお代りになった。また日本側も学会名称が変更された。これを機に残り少ない任期ではあるが、新たな気持ちで交流の実を一層深められればと考えている。

この役を仰せつかるまで渡韓経験はなかったが、はからずも齡還暦を迎えんとする年齢になって初めてソウルの他、2、3の都市を訪れる機会を得た。同僚の国際委員につき従ってわずかの場所を訪れただけであるが、そこには日本にはない独特の熱気と高揚感があるように感じられた。飲食店におけるサービスなどは繊細で行き届いているとは感じられないが、それが逆に国際化という面では日本よりも優位に立てる要因かも知れない。かつて英国が世界制覇できた一つの要因として、その食事のまずさを挙げる説もある。つまり、あのまずい食事を食べられるからこそ、世界どこに行っても困らず、大英帝国を築けたのだと。その点からすれば、細かなことにとらわれないうまくましさは多様な文化と向き合い、国際化を進める上での強みとなろう。韓国との交流を通して、日本がよりタフになることの大切さを学べるのではないかと感じている昨今である。

開催校案内

第 65 回全国研究大会大会委員長 高橋 淑郎（日本大学）

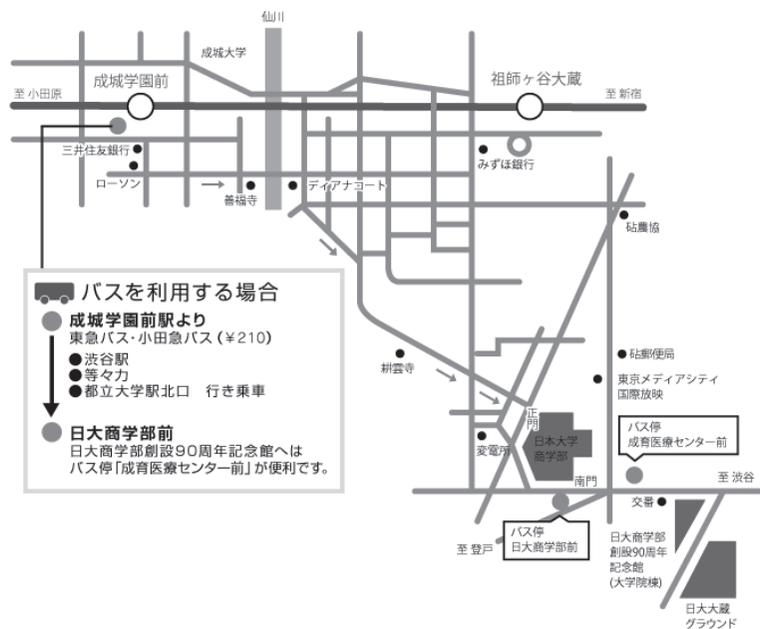
日本マネジメント学会第 65 回全国研究大会は、平成 24 年 6 月 22 日(金)～24 日(日)にかけて日本大学商学部で開催されます。本学部は、新宿駅から小田急線急行で約 15 分の「成城学園前駅」で下車、駅前から「渋谷行き」バスで約 5 分の所にあります。快速急行は成城学園前駅で停車しませんのでご注意ください。新宿駅から各駅停車でご来校の際は、約 25 分の「祖師ヶ谷大蔵」で下車し、徒歩 10 分でキャンパスに着きます。

キャンパスの隣には、テレビドラマなどの撮影を行っている「東京メディアシティ」、世田谷通りの向かい側には「独立行政法人国立成育医療研究センター」があります。世田谷通りを少し渋谷よりに進みますと、NHK の放送技術研究所や砧公園、世田谷美術館などがあります。いずれも徒歩 15 分以内です。

数年前から始まりましたキャンパス再開発により、新しい講義棟（1 号館、2 号館）、中講堂、体育館などが完成しております。現在、キャンパスの中央部で、事務棟・研究棟を建設するための遺跡発掘調査が行われておりますが、学会の開催には支障ありません。

統一論題については、現在、大会委員会で検討中です。次号の会報で、その内容をお伝えできるはずですが、ぜひ、多くの会員の皆さまにご参加いただき、活発な議論が展開されることを期待しております。

アクセスマップ



韓国経営教育学会への派遣報告者の募集

韓国経営教育学会 (Korean Association of Business Education) との「報告者交換プログラム」に基づき、派遣報告者を下記のように募集します。報告テーマは「経営教育」に関連した内容であることが要求されますので、応募にあたりご注意ください。

応募者多数の場合は、国際委員会で選考します。

派遣先: 2012年度韓国経営教育学会 (2012年4月28日(土)、慶南科学技術大学、晋州)

応募資格: 本学会員 (大学院生を除く)

応募方法: 氏名、所属、報告テーマ、報告要旨 (日本語 3000字以上) を郵送またはメールで学会事務局に送付

締切日: 2012年3月24日(金) (消印有効、メールの場合は16時まで有効)

その他: 派遣報告者には旅費補助として3万円支給

平成23年度第3回関東部会報告

ビシュワ ラズ カンデル (神奈川大学・杏林大学、非常勤講師)

平成23年12月17日(土)14時から文京学院大学本郷キャンパスB館406教室において、日本マネジメント学会平成23年度第3回関東部会が開催された。

第1報告のテーマは、「理学療法士のワークモチベーション—Herzberg理論の視点から—」であり、発表者は岩崎裕子先生 (文京学院大学)、コメンテーターは海老澤栄一先生 (神奈川大学)、司会者は今井重男先生 (千葉商科大学) だった。岩崎先生は、理学療法士のワークモチベーションをどのように上げていくべきかという課題をHerzberg理論の視点から報告された。医療現場におけるスタッフのモチベーションを上げるという観点からの研究はきわめて有用であると思われる。

第2報告のテーマは、「企業倫理教育におけるケースメソッドの有用性」であり、発表者は李昭娟先生 (創価大学大学院博士後期課程)、コメンテーターは中村秋生先生 (千葉商科大学)、司会者は加藤茂夫先生 (専修大学) だった。李先生は、企業倫理教育の道徳的側面に関する米国の大学教育のケースメソッドを中心に報告された。近年頻繁に発生している企業不祥事対策として大学教育の中に倫理教育を盛り込み、有効的な知識を与えていく必要があることを主張された。

第3報告のテーマは、「化粧品企業におけるブランド価値評価—経営産業省ブランド価値評価モデルによる分析を中心として—」であり、発表者は申海華先生 (横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科博士後期課程)、コメンテーターは萩原道雄先生 (萩原経営研究所)、司会者は田中信弘先生 (杏林大学) だった。申先生のご報告は、日米中の有力化粧品メーカーの財務指標を定量的に比較分析し、ブランド力を読み取るというものだった。

これらの3人のご報告に対して、コメンテーター、司会者、フロアから活発な質疑応答がなされた。報告会終了後、忘年会を兼ねた懇親会があり、報告内容をさらに掘り下げた議論や会員間の交流がなされた。

◇◇九州部会開催のご案内◇◇

- 日 時：2013年3月17日(土) 13:30～17:30
- 場 所：お茶の水医療福祉専門学校福岡校 TEL. 092-731-7421
〒8140-0041 福岡市中央区大名1-9-51
(地下鉄 赤坂駅下車徒歩3分、西鉄 福岡駅中央口下車徒歩8分)
- 報告プログラム (※報告:30分、コメント・質疑20分)
 - 第1報告:13:40～14:30
報告者:前田 卓雄 (北九州市立大学大学院)
テーマ:「小売業における非正社員リーダーの職務意欲に関する研究 ―正社員店長とのタスクの重複に注目して―」
コメンテーター:増田 幸一 (九州共立大学)
 - 第2報告:14:40～15:30
報告者:岩崎 真之介 (広島大学大学院)
テーマ:「福岡県農協系統の野菜マーケティング戦略」
コメンテーター:齋藤 貞之 (九州国際大学)
 - 第3報告:15:40～16:30
報告者:長野 史尚 (九州共立大学)
テーマ:「スポーツビジネスにおけるマーケティングの一考察」
コメンテーター:小野瀬 拓 (九州産業大学)
 - 第4報告:16:40～17:30
報告者:ダイモン ドラモンド (立命館アジア太平洋大学) ほか
テーマ:「企業倫理・社会責任領域におけるCSR活動の課題～日本および韓国における農村問題への取り組みの事例から～」
コメンテーター:新川 本 (長崎県立大学)
- 懇親会費:4500円 (会場:近隣のレストランにて、18:00～20:00)
- お問い合わせ:九州部会幹事 八島 雄士 (yashima@kyukyo-u.ac.jp)

◇◇中部部会開催のご案内◇◇

日本マネジメント学会中部部会では、第45回中部部会開催を、下記のとおり予定いたしております。皆さま奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 日 時：平成24年6月2日(土) 14:00～17:30
- 場 所：東海学園大学栄サテライト
- お問い合わせ：中部部会長・堀田 友三郎
(0561-36-5555, hottat@tokaigakuen-u.ac.jp)
詳細につきましては、中部部会事務局・藤木善夫 (愛知産業大学 岡崎市岡町原山12-5 TEL:0564-48-4511, yfujiki@asu.ac.jp) までお問い合わせください。
また中部部会では随時報告者を募集しております。ご希望の方も上記藤木宛お知らせください。

◇◇関東部会開催のご案内◇◇

開催校担当教員 小椋 康宏 (東洋大学)

- 日 時：2012年5月19日(土) 13:10～
- 場 所：東洋大学白山キャンパス(会場は、4月以降学会ホームページでご案内します。
また、当日6号館入口に掲示します)
- 報告プログラム
 - ※報告：40分、コメント・質疑 20分
 - 第1報告：13:10～14:10
 - 報告者：小畠 正稔 (東洋大学)
 - テーマ：「中小企業の経営力 ― 経営学の拡張 ―」
 - コメンテーター：芦澤 成光 (玉川大学)
 - 司会者：坪井 順一 (文教大学)
 - (10分休憩)
 - 第2報告：14:20～15:20
 - 報告者：夏 保林 (横浜市立大学大学院)
 - テーマ：「戦略的企業間連携による物流共同化に関する研究」
 - コメンテーター：中村 公一 (駒澤大学)
 - 司会者：高橋 宏誠 (コーポレート・エグゼクティブボード・ジャパン)
 - (20分休憩：コーヒープレイク)
 - 第3報告：15:40～16:40
 - 報告者：嘉味田 朝功 (元中部大学)
 - テーマ：「経営教育論と経営道」
 - コメンテーター：海老澤 栄一 (神奈川大学)
 - 司会者：伊藤 忠治 (淑徳大学)
 - (10分休憩)
 - 第4報告：16:50～17:50
 - 報告者：高千穂 安長 (玉川大学)
 - テーマ：「中高年従業員の活用についての研究」
 - コメンテーター：村上 良三 (ハリウッド大学院大学)
 - 司会者：小川 達也 (東京富士大学)
- 参加費等：参加費 1,000円、懇親会費 2,000円
- お問い合わせ：関東部会長・佐久間 信夫 (042-691-6994 nsakuma@soka.ac.jp)

◇◇関東部会開催のご案内◇◇

関東部会長 佐久間 信夫 (創価大学)

平成 24 年度第 2 回関東部会は、平成 24 年 7 月に開催の予定です。報告を希望される方は、関東部会長・佐久間信夫 (TEL: 042-691-6994 nsakuma@soka.ac.jp) までお知らせください。関東部会では随時報告者の募集を行っております。

会費未納の方、早急にお納めください。

本学会は会員各位の会費により運営されています。

- ・郵便振込の場合
口座番号：00150-7-535064
(当学会の振込票を利用させていただくと振込料は学会負担です)
- ・銀行振込の場合
みずほ銀行 飯田橋支店 普通預金口座 1388418

日本マネジメント学会事務局

本欄～会員の新刊著書を紹介します～

◎寺澤朝子「個人と組織変化 一意味充実人の視点から—(改訂版)」文真堂 2,300円+税

会員の皆さまの新刊著書をご紹介します。

事務局への献本(1冊)をお願いいたします。

機関誌投稿論文、日本マネジメント学会山城賞および山城賞奨励賞、アメリカ経営学会経営教育部会への派遣報告者、韓国経営教育学会への派遣報告者のお申し込みやお問い合わせは、下記までお願いいたします。

日本マネジメント学会事務局 (担当：魚住 良三)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-8-4 (株)山城経営研究所内

TEL 03(3264)2100 FAX 03(3234)9988 E-Mail name@kae-yamashiro.co.jp

編集後記

会報第274号をお届けします。日本大学商学部で開催されます日本マネジメント学会第65回全国研究大会は、学会名称変更後の第2回大会です。

開催校の隣接環境と日本マネジメント学会の特徴とを活かした大会プログラムで、会員の皆さまと活発な議論を展開し、有意義な時間を共有したいと存じます。

樋口弘夫・杉田あけみ

発行 日本マネジメント学会
(旧称：日本経営教育学会)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-8-4
株式会社山城経営研究所 (担当：魚住)
TEL 03-3264-2100 FAX 03-3234-9988
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp
URL: http://www.nippon-management.jp/

印刷 (株)ドットケイズ 〒03-5206-1626
E-mail: fujiyama2011@mail.goo.ne.jp